

## 若者たちに住む場所等を提供して自立を支援 株式会社住栄都市サービス 社員ボランティアの皆様

【パートナー団体： NPO 法人東京里山開拓団】

※NPO 法人東京里山開拓団からの応募

### ■活動の目的:

虐待や貧困などで特に厳しい環境にある子どもたちは児童養護施設等で手厚くケアされますが、成人後は親や公からの支援に限られる中で自立を迫られ、わずかなことで転落するリスクと不安を抱え続けています。株式会社住栄都市サービスのボランティア活動は、支援が必要な人に直接届く支援を行うことを目標として、NPO 法人東京里山開拓団が推進する施設退所者等の自立応援の家『まちごろりん』づくりに協力していただいています。

### ■活動を始めたきっかけ(活動開始:2023年12月):

同社が本活動を始めたきっかけは、2023年にCSR活動立上げを検討する中で、「支援が必要な方へ直接届く支援を」という同社の方針と当団体の活動が合致したところにあります。当初は同社の営業力を生かした空き家探しの協力を想定していましたが、同社より自社所有物件を再開発までの間に家賃無料で提供し、一方で当団体は税保険や管理費用を負担するという双方にとって利益のある提案があり、『まちごろりん豊島』の空き家を児童養護施設の退所者等に提供することが実現しました。

### ■活動内容(ボランティア実数:11名):

当団体の推進する自立応援の家『まちごろりん』づくりの内容は、当団体が共感いただける都心部の空き家の家主から現状のまま、期間限定で、家賃無料で提供いただき、当団体のボランティアと児童養護施設の子どもたちが自ら開拓者精神を発揮してDIY改修や片付けを行い、児童養護施設退所者などの自立を応援する家を創り上げるものです。また、その後の運営では、最大5年間は家賃を無料とし、積立の促進や生活習慣づくり、仲間づくり、就職先あっせん、ふるさとづくりなどの機会も提供します。

運営方針としては、「みんなで開拓者精神を発揮して自ら創り上げる」「入居者は支援される立場ではなく、協力し合える仲間として受け入れる」「当団体の推進するふるさとの山づくり・ふるさとの家づくりとあわせたふるさとづくりの一環として推進する」「公的支援に依存せず民間の力を結集して、効率的かつ効果的に運営する」ことを掲げています。





同社には当団体の活動内容や方針に共感いただきつつ、当団体の力不足が否めなかった空き家の掘起しを全面的に支えていただきました。2024年には当団体との間でパートナーシップ契約を締結し、経営者や CSR 担当者が先頭に立つことで経営層や営業部門なども積極的に協力する機運を生み出し、全社を挙げて本活動の推進に取り組んでいただいています。

同社による活動内容は、当団体の推す社会的養護対象者の自立応援の家『まちごろりん』づくりへの協力として、①空き家探し、②難易度の高い改修作業の応援、③入居者への中古家財の提供、④入居者への仕事あっせん、⑤『ま

ちごろりん』普及に向けた広報連携、⑥必要な活動資金の寄付があります。

具体的には、2024年からの1年半で豊島区(2人用、まず3年間)・新宿区(2人用、まず2年間)の自社物件の提供、北区(2人用、5年間)の空き家大家の紹介、水回り改修、中古クーラーの提供、入居者への仕事の発注、新聞社への共同対応、活動資金の寄付などを行っていただきました。

#### ■活動の成果:

同社の協力で3軒、6人が入居できる空き家の確保ができました。本企画全体11人分の中で大きな部分を占めています。特に企業が再開発まで使用せずやがて取り壊される空き家を提供する試みは、困難な状況にある人が税金に依存せずに、民間の知恵と協力で効率的・効果的に支援しつつ、同時に企業にとっても管理負担の軽減や地域からの信用アップという直接メリットも生み、福祉制度の限界を超える画期的な社会事業モデルとなりえます。

第11回企業ボランティア・アワード『ユースサポート奨励賞』